


カタカムナ医学校マスター講座 第1回

カタカムナウタヒとは
カタカムナ文字とウタヒの基礎編



カタカムナウタヒ 基礎編

カタカムナ文字、ウタヒ、
ヤタノカカミ、フトマニといった
神聖幾何学  と
神聖幾何学音声(カタカムナウ
タヒ)を使った
生命エネルギー駆動システム、
又は、生命エネルギー発生シ
ステムをカタカムナという

カタカムナウタヒ 基礎編

2

第1章

カタカムナは音と形によって
高次元空間をその場に誘導し
その中で人を癒すテクノロジー

カタカムナを伝えてくださった
檜崎暉月氏や宇野民江さん、
多くのカタカムナ研究者に感謝を込めて



カタカムナウタヒ 基礎編

3

私たちは三次元世界にだけ生きていると考えています。
ところが三次元世界には、五次元以上の世界も同時に
存在しているため、私たちは同時に五次元以上の高次
元世界にも属しているというのが事実です。

しかし、五次元以上の高次元は潜れていて、その姿を
現さないため、私たちは五次元以上の世界がもつ力や
情報、エネルギーを使うことができません。ところが、カ
タカムナをすると、五次元以上の高次元世界の力や情
報、エネルギーを使うことができるので、通常と違った
能力を発揮することができます。

私がカタカムナをするというとき
カタカムナウタヒを見ながら詠うことを意味します。

カタカムナウタヒ 基礎編

4

たとえばカタカムナを医学に用いると (具体的には患者さんに向かってウタヒを詠った場合)

ほとんどの人が指先にジンジンするようなバイブレーションを感じ、汗が吹き出すほど身体が熱くなる人がいます。ガンによるひどい痛みを訴える人でも、数分で痛みが消え息がしやすくなるといいます。これは奇跡でもなんでもなく、五次元以上の高次元空間のエネルギーや情報が人を癒すためです。



カタカムナウタヒ 基礎編

5

60歳の肺ガンの女性は、骨盤に大きな転移があって、痛みのため、立つことも座ることも、横になることもままならないと言います。

そこで彼女の娘さんに、彼女の耳元で10分程カタカムナウタヒ(以下ウタヒと略)を詠ってもらいました。するとどうでしょう。それまでひどい痛みのため、ベッドにうずくまるようになっていた彼女はすくっと立って、診察室に歩いて入ってこられました。彼女に「さっきまでのひどい痛みは？」と聞くと、「まだほんの少しだけ痛みはありますが、随分いい」と言います。ウタヒは誰が詠ってもよく効きます。肺癌そのものが治るには、さらなる治療が必要です。

カタカムナウタヒ 基礎編

6

- ・膵ガンの人は、ミスマルノタマの中に入ると身体が勝手に動き出し、その動きが終わるとすごく楽になったと言います。
- ・乳ガンの女性は身体がすごく熱くなり、2cmあった腫瘍が0.5cmまで縮小しました。
- ・乳がんの肺内転移の方は、肺内転移が小さくなり、骨転移による痛みがほぼ消えました。

カタカムナをするとガンや難病の患者さんが元気になっていきます。カタカムナだけでガンが消えるということは今の段階では言えませんが、元気になっていく人は多いようです。

**治療に関していえば、カタカムナは医師の私がやるから効果が出るわけではありません。
カタカムナは誰が行っても効果が出ます。
これはとても重要なことです。**

カタカムナウタヒ 基礎編

7

人によって様々な能力が開花するかグレードアップする

カタカムナでよい方向に変わっていく人は多いようです。たとえば、頭がずば抜けてよくなるとか、ずば抜けて絵や音楽がうまくなるとか、発明をする能力が上がる等が考えられます。

カタカムナウタヒ 基礎編

8

開運効果も期待できます

・30代の主婦は急に金運が良くなり、50代の女性は仕事がすごく順調に行きはじめ、30代女性は自分の身に奇跡と呼べるほどのことが頻繁に起こりはじめました。

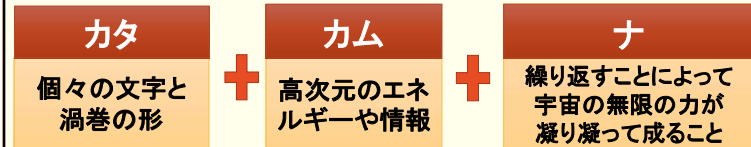
カタカムナでなぜ開運？

カタカムナをすることによって自分がいる次元が上昇すると、身体が癒されるだけでなく、体験する現実も高次元化します。それが結果的に開運効果をもたらします。

カタカムナウタヒ 基礎編

9

カタカムナ



渦巻状に配列されたカタカムナ文字の形と音を使って、人が一瞬で高次元のレベルまで自分のポテンシャルを引き上げる方法がカタカムナです。

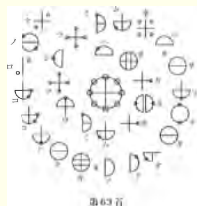
カタカムナウタヒ 基礎編

10

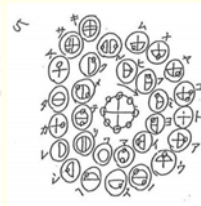
カタカムナって何

カタカムナは一万年二千年以上前、縄文時代以前、レムリア、ムー、アトランティスと同時代にあった超古代文明のことです。カタカムナについて、分かっていることは、カタカムナ文字という文字と、その文字で書かれたカタカムナウタヒ(以下、ウタヒ)に書かれていることだけです。

ウタヒは文章が縦や横ではなく、渦状に書かれた世界に類を見ないものです。



第63頁



カタカムナウタヒ 基礎編

これら一つ一つの文字をカタカムナ文字、渦状に書かれたウタヒをカタカムナ文献といいます。

11

カタカムナ発見

カタカムナが発見されて、まだ70年位しか経っていません。カタカムナ文献を発見したのは榎崎皐月(ならさきさつき)という科学者です。

榎崎皐月氏が1949年に、兵庫県六甲山系の金鳥山で大地電気の測定をしていたときに、平十字という猟師から「動物たちが困っているから、その測定をやめてほしい」と頼まれて、すぐにその通りにしたら、お礼にと不思議な巻物を見せてもらいました。それがカタカムナ文字で書かれたカタカムナウタヒです。

カタカムナウタヒをこの世に知らせた人が、榎崎皐月という科学者である。

(参考:インターネットサイト「カタカムナ」<http://www.geocities.jp/nkkagosu50/page132.html>)



カタカムナウタヒ 基礎編

12

平十字と『カタカムナ文献』の出現

平十字の父はカタカムナ神社の宮司であり、巻物は先祖代々「カタカムナの神の御神体」として伝わったもので、「開けたら目が潰れる」と言われ固く秘匿されてきたものであるとのことであった。もともと以前にもこの巻物を見せたこともあったのか、平十字は、「今までに刀のツバや定紋の絵だろうと言った学者があったが、そんなものじゃないんだ」と厳然として語ったという。

丸と十字からなる奇妙な図象が渦巻状にひとかたまりとなっていくつも並べられていたのを見たとき、榎崎にはふと「八鏡文字」という言葉がひらめいた。

謎のカタカムナ文明 秘教科学の最終啓示/阿基米得著/徳間書店

カタカムナウタヒ 基礎編

13

「上古代の日本の地に、アシヤ族^④という、高度の文明をもつ種族が存在し、『八鏡の文字』を創り、特殊の鉄をはじめ、さまざまな生活技法を開発していたこと、そして後代の哲学、医学(易の思想や素問霊枢(そもんれいすう)、漢方等)は、その文化の流れに展開したものである」

いま目の前にしている巻物に描かれた不思議な図象こそ、蘆有三道士の語った「八鏡の文字」なのではないか、榎崎はこのようにピンときたのである。

④八鏡文字・・・八鏡文字とは、上古代の日本に存在した高度な文明を持つ種族によって創られた文字。

謎のカタカムナ文明 秘教科学の最終啓示/阿基米得著/徳間書店

カタカムナウタヒ 基礎編

14

そして榎崎は血のにじむような努力の末、ノートに写し取った図象を解読していった。その結果、超古代の日本の地に棲み高度な文明を築いた人類が、自分たちの把握した宇宙観あるいはサトリ(哲理)を歌の形にした科学書であり、そこに日本語および日本文化の原型というべきものがあつたことが明らかになったのだという。

そして榎崎はこの太古の根本人種を「カタカムナ人」とよんだ。

謎のカタカムナ文明 秘教科学の最終啓示/阿基米得著/徳間書店

カタカムナウタヒ 基礎編

15

これから
カタカムナ文字についてのお話しをはじめます

カタカムナウタヒ 基礎編

16

文字を超えたカタカムナ文字

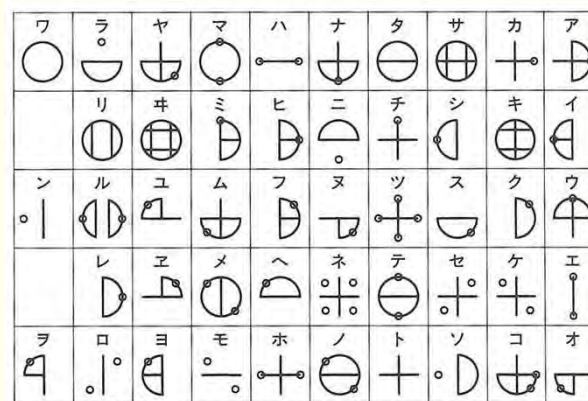
カタカムナ文字は、文字というよりは記号に近いものです。それも極めてシンプルで覚えやすく、使いやすい文字です。もし宇宙に共通語(文字)があるなら、きっとこんな文字だろうと思ってしまうほどです。

実際、今日までカタカムナを研究してきて、これは超古代の人間が創れる代物ではなく、一万二千年前に高度な知性をもった宇宙生命体がつくって、それをその当時の日本人に教えたのではないかと考えています。それほどの威力がカタカムナ文字にはあるのです。



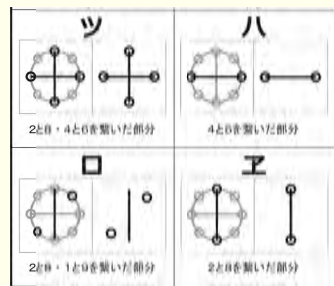
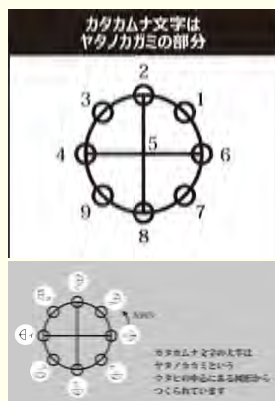
カタカムナ文字 基礎編

カタカムナ文字は円と線でできたシンプルな図形です。



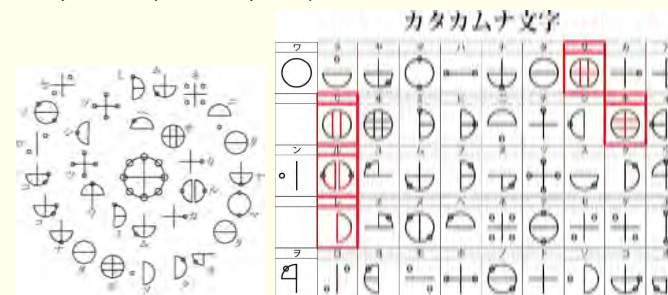
カタカムナ文字 基礎編

カタカムナ文字に関していうと、大半のカタカムナ文字はヤタノカガミとよばれる中心図形の一部であるということです。



カタカムナ文字 基礎編

カタカムナはカタカナのルーツ?!



一見すると、これが本当にカタカナのルーツだったとは思えませんが、サやキなどのようにカタカナそのものである文字があります。そのため、カタカムナ文字は現代の日本語のカタカナ四十八音図にあてはめることができるといわれています。カタカムナ文字は濁点もパピブペボのような半濁点もない文字です。

カタカムナ文字 基礎編

全く同じ形

ウタヒ第6首は、「ソラニモロケセ ユエヌオヲ ハエツキネホン カタカムナ」です。ここにユエヌオヲがあります。ユエヌオヲは全く同じ一つの形が、回転(自転)したり反転することによってできています。ユエヌオヲは、電子の立体的な回転を表しています。ユエヌオヲは、一つの電子が自転する様子を表しています。

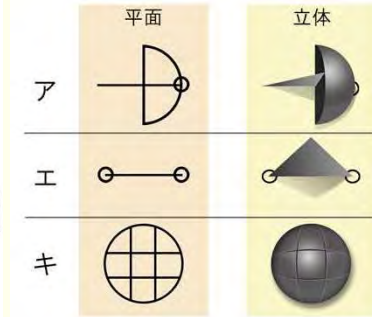
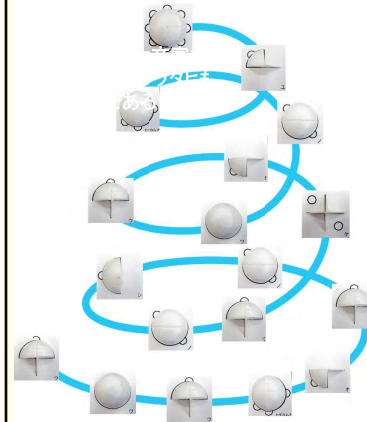
回転を現している「ユエヌオヲ」

ユエヌオヲ
ユエヌオヲ

まるで体操のムーンサルトのよう

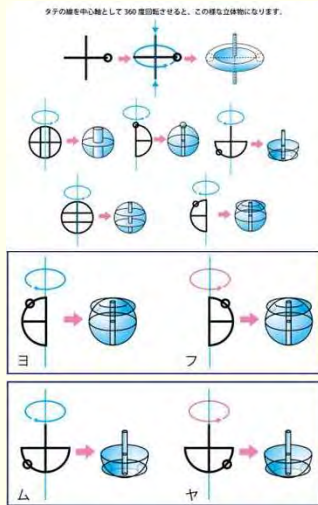


カタカムナ文字は立体文字

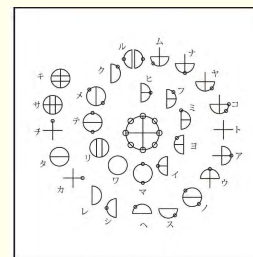


カタカムナの回転軸

回転するためには、軸が必要になります。1(ヒ)2(フ)3(ミ)4(ヨ)5(イ)は、左右の向きこそ違いますが、半月が直立したような形をしています。これは回転軸が垂直であることを表しています。6(ム)7(ナ)8(ヤ)9(コ)10(ト)は、亀がひっくり返ったような形になっていますが、これは回転軸が水平であることを表しています。タはカタカムナ文字で「た」と書きます。この円の中央の線は、回転軸を表している可能性があります。



声音符と図象符



カタカムナウタヒ 第5首
ヒフミヨイ マワリテメクル ムナヤコト
アウノスヘシレ カタチサキ

声音符と図象符	
(図象符)	(声音符)
	カ
	タ
	ム
	ナ

↑
カタカムナ文字の構成要素(図象符)は、このように決まっています。

図象符は、いくつかの声音符を合成したものと考えられます。

カタカムナ文字には「一つ一つの単音を示す」声音符と、複数の単音を重ね合わせた「図象符」があります。図象符はいくつかの声音符を組み合わせてつくられます。

今度はカタカムナウタヒの 中心図形についてのお話です



ウタヒ第2首

カタカムナウタヒ 基礎編

25

カタカムナウタヒの中心図形

80首のウタヒには、中心となる図形があります。



中心図形 1:ヤタノカカミ

中心図形 2:フトマニ

中心図形 3:ミクマリ

80首中71首に

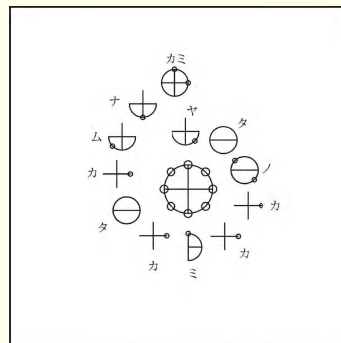
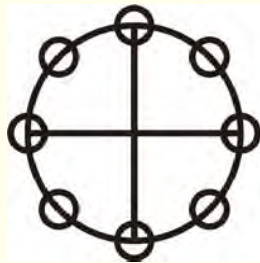
80首中7首に

80首中2首に
(第1首、第15首)

カタカムナウタヒ 基礎編

26

カタカムナの3つの中心図形のうち、
ヤタノカカミは神であると書かれています。

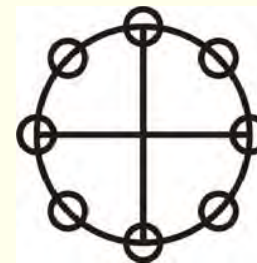


カタカムナウタヒ 第2首
ヤタノカカミ カタカムナ カミ

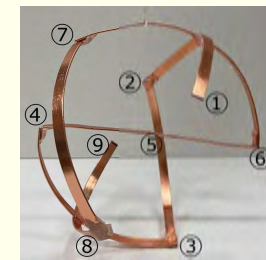
カタカムナウタヒ 基礎編

27

カタカムナウタヒの内容からヤタノカカミの本来の姿
をつくりあげて使うことは最も重要。これらについて
は後半でお話します。



ヤタノカカミ



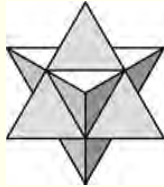
カタカムナウタヒ 基礎編

28

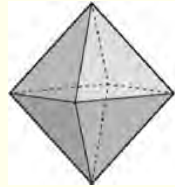
また、中心図形のフトマニも神と言ってもいいほどのもので、これをつくって利用することは、人類にとって必要不可欠です。



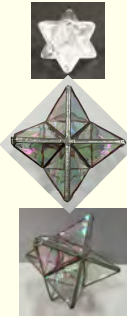
フトマニ



星型二重正四面体

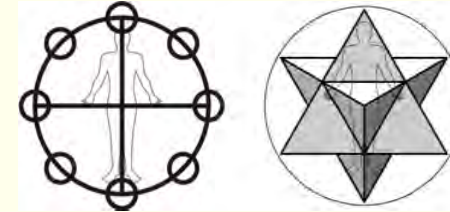


正八面体



カタカムナは中心図形にはじまり、中心図形で終わるといっても過言ではありません。

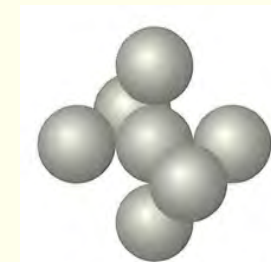
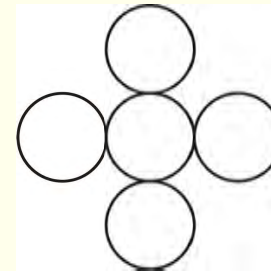
ヤタノカミやフトマニを立体にし、それらに自分が囲まれているイメージや潜在意識が包まれているイメージをします。すると、それらと私たち意識が共鳴し、その場の時空間が変化し次元を超えることができます。



平面から立体へ

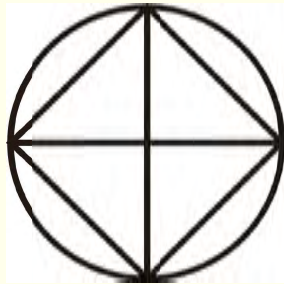
二次平面に描かれた図では分からないことも多い

例えば、平面に描かれた5つの球は、実際には下のような立体であることがある。



脳と古事記17神(著三角大慈)とカルランド

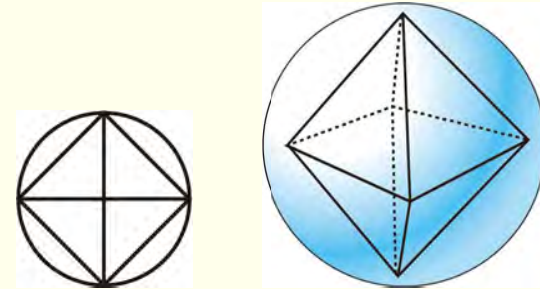
Q.さて問題です。
これはウタヒの中心図形の一つ、
フトマニです。これは二次平面として描かれてい
ますが、本来はどんな形だと思いませんか？



カタカムナウタヒ 基礎編

33

まず最初に頭に浮かぶのは球に内接した正八
面体ではないでしょうか。確かにこれも答えの
一つです。しかしこれだけでなく他にもあります。
例えば次のような立体です。



カタカムナウタヒ 基礎編

34

球体の表面に描かれた円(曲線)がフトマニ
の直線(ひし形の部分)として見えている可能
性があります。

立体を一つの平面に表すと、立体の一部の
情報しか伝わらなくなることがあります。



4つの球がより大きな一つ球の中に

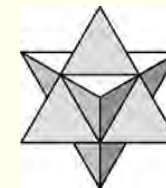
カタカムナウタヒ 基礎編

35

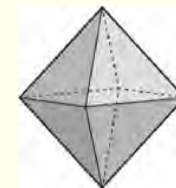
また、中心図形のフトマニも神と言ってもいいほどのもので、
これをつかって利用することは、人類にとって必要不可欠です。



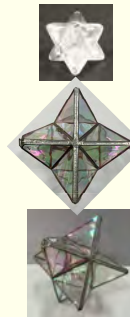
フトマニ



星型二重正四面体



正八面体

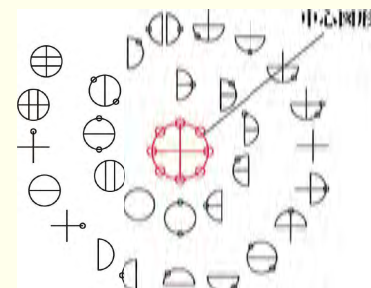


カタカムナウタヒ 基礎編

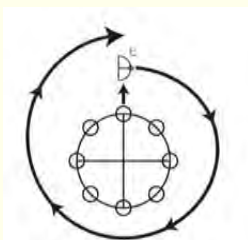
36

これからカタカムナウタヒについてのお話しを始めます。

カタカムナウタヒは
中心図形とその周りのカタカムナ文字
からできている



ウタヒはマワリテメクル

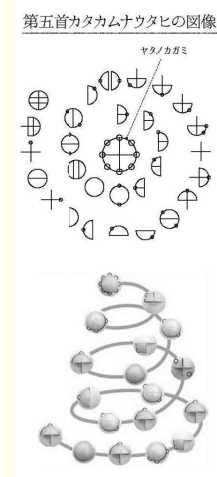


ウタヒは基本的に図のように
真ん中から外側に向かって読んでいきます



カタカムナウタヒ 第五首
ヒフミヨイ マワリテメクル ムナヤコト
アウノスヘシレ カタチサキ

右回りのラセンに書いたのは、
一つひとつのカタカムナ文字が
回転(自転)しながら平面から
立ち上がるように上がっていく
様子を表現するためだと考えら
れます。



ラセンを使って上へ昇る(次元上昇する)ことも、
下に降りていく(次元下降する)こともできます

流体(流線形)意識の生命場 例「ありがとうございます」

「ありがとうございます」という「思い」にも、「ことば」にも生命(霊)が宿っていて「ありがとうの恩恵」をもたらしてくれる。もちろん、「文字」にも生命(言の霊)が宿り、その「生命体としての文字の恩恵」に与ることができる。特に手磨りの墨での墨書の生命のはたらきは絶大で、末代までの恩恵(バイブレーション=神)を持続させる。

例えば、「ありがとうございます」は「流線形の十個の音」の並びではあるが、その一つひとつが「ことたま」という霊(生命)であり、また、十(10)の言霊(細胞の軸組)に「生命エネルギー」が宿り、「生命場が形成」されている。

この十個の「ことたま」の配列を分解して、例えば「あとがうりまざすいご」とバラバラにすることは可能である。しかし分解してしまえば、もうそこには流体での営み(物語)が潰れて生命エネルギーは消失してしまうのである。

これからの展開には非常に大事なことなので、もう一度念押ししておく。

この一個の流体意識「ありがとうございます」の生命場(言霊)には、十の「ことたま」の生命エネルギーとともに、流体(龍体)としての一個の生命エネルギーが常在している。

私たちの身体に生命エネルギーが宿っているのと同じように、流体の「ことたま」配列にも生命エネルギーが常在しているのである。そしてそれが「言霊」という生命である。存在のすべては相象象してそれぞれ独自固有の軸組を持っている。

高霊百神 大下伸悦著/新日本文芸協会オメガ

カタカムナウタヒ 基礎編

41

「思い」とは「言霊のはたらき」のことである

「思い」とは言霊の【はたらき】である。言霊とは「ことたまの配列に生命場が生じたもの」である。言霊とは神の吐く息である。まず点のことたまに、線の言霊を生じさせるのが言の葉であり、文章である。

「ありがとうございます」は十のことたまの配列ではあるが、すでに御言霊(みことたま)という生命場を持っている。御言(命)(みこと)の霊が宿っているのである。

例えば、「あ」は「たかみむすひのみこと」のことたまが宿っているのだが、「ありがとうございます」は、ことたま十神が並び立ってはいないものの、この十神の並びそのものが一つの生命場となっている。

高霊百神 大下伸悦著/新日本文芸協会オメガ

カタカムナウタヒ 基礎編

42

カタカムナ文字やウタヒが生み出すエネルギー

個々のカタカムナ文字が有するエネルギーと、カタカムナ文字をウタヒに配列したときに生まれるエネルギーの2つが人に作用します。後者は流れによって特に生み出されるが、カタカムナは一連の文字の配列にラセン形の流れをさらに付加し、その流れが生み出すエネルギーをさらに増幅しています。

カタカムナウタヒ 基礎編

43

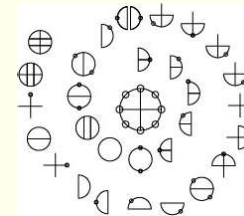
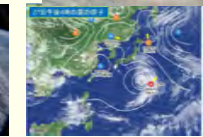
カタカムナのラセン

自然界のものはラセンでできています。DNAの螺旋構造から宇宙の銀河の渦まで、ミクロからマクロまで、すべてが螺旋でできています。

カタカムナウタヒのラセンは、ラセン状に書かれていますが、それは、カタカムナ人があらゆるものがラセンから創造されることを知っていたからです。



縄文土器(高野原) 縄文時代前期



カタカムナウタヒ 基礎編

<https://natgeo.nikkeibp.co.jp/atc/new/s/19/082900501/>

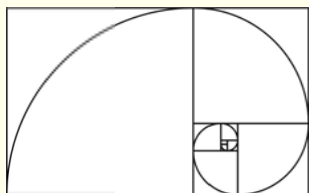
tenkijp

44

カタカムナのラセンは黄金ラセン

黄金ラセンには終わりがありません。言い方を変えれば、黄金ラセンはどこまでもどんどん大きくしていけます。これは黄金ラセンが一つの次元や時空間にとどまることなく、拡張拡大していくことを意味します。

黄金ラセンだからこそ、高次元へ行くことができ、高次元とつながることができるのです。



謎のカタカムナ文明 秘教科学の最終啓示/阿基米得著/徳間書店

カタカムナウタヒ 基礎編

45

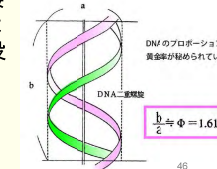
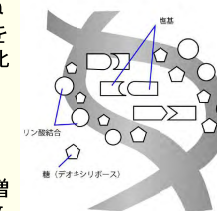
人のDNAの構造を見てみると、四次元世界を表す正五角形の構造(黄金比と黄金ラセンが基本となる構造)と三次元世界を表す正六角形の構造の両方が備わっている。DNAをモデル化したものを、上から見ると六芒星※(正六角形の合う頂点を結んでできる図形)を二つ重ねた12角形になっているタイプが多い。さらに、このモデルを横から見たときに、その螺旋のピッチと直径の比が黄金比になっている。

このように、私たちの生命のもっとも基本になるDNAが、正五角形と正六角形の組み合わせになっているのは、まったく驚くべき事実である。

また、人の細胞が分裂して成長するとき、その細胞の増加率を示す数比も黄金比である。DNAや細胞は、次元接点と同じ性質を持っているのだ。そのため、私たち人間は四次元世界の力やエネルギーを獲得し、三次元世界に役立てることができたのだ。



DNAの模式図

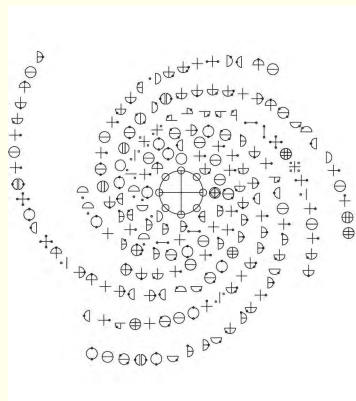


※六芒星...六角形から作られる星形。



カタカムナウタヒ 基礎編

46



カタカムナエイトドラゴン 1~8首合一

カタカムナウタヒ 基礎編

47

カタカムナ人は、ラセン状の形から、目に見えない力やエネルギーが出ることを、そしてこの力やエネルギーの使い方を知っていたのです。

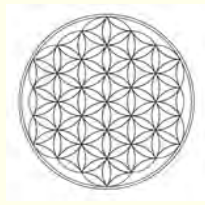
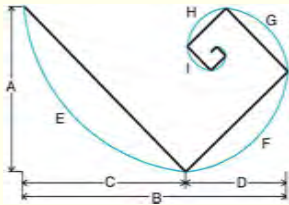
直線的に書いた文字からも、わずかなエネルギーがでますが、ラセン状に書いた文字からは、明らかに分かる力やエネルギーが出ています。

カタカムナ人は、その力やエネルギーを使って病気を消し、植物の成長を促し、家畜の発育を促してきました。作物の育たない土地を、ラセンの形を使って、作物が育つエネルギーを持った土地に変えていたのです。

カタカムナウタヒ 基礎編

48

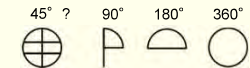
私たちの生命が持っている神聖幾何学形状として「螺旋」があります。私たちは螺旋の中で生きています。銀河の腕は渦巻つまりラセン状ですし、あなたの耳の中には小さな螺旋状の器官があって、その螺旋を使ってまわりの音を聴いているのです。



フラワーオブライフ第1巻 メルキゼデク、ドラングァロ著/ナチュラリスピリット

カタカムナウタヒには高次元領域からエネルギーを引き出す要素がある

高次元領域からエネルギーを引き出す要素には、ゼロやラセン状の回転(渦巻回転)、角度があります。カタカムナ文字やウタヒには、ゼロやラセン状の回転、角度(自転している)の要素があるため、高次元領域から簡単にエネルギーを引き出すことができます。



【磁石】
磁石の中間にゼロができます。

【黄金ラセン】
ラセン状の回転が黄金ラセンの場合に、最も効率よくエネルギーを引き出すことができます。

【角度】
角度は45度が最もよく、次に90度がよいようです。